

はくがくニュース No.14

あおや郷土館

観覧無料!

9/9(土)~10/9(月・祝)

展覧会「発生から80年 昭和十八年九月十日鳥取地震」

昭和18年9月10日(金)午後5時36分、鳥取市の鹿野断層・吉岡断層を震源断層とする鳥取地震(M7.2)が発生しました。今年で、発生から80年となります。

当時、鳥取市では震度6を記録し、震度5の強震域は岡山県にまで及び、有感域は関東、北信越、九州地方にまで及んでいます。地震被害は鳥取平野と沿岸地域に集中し、強震動により多くの家屋が倒壊して多数の人が亡くなりました。

展覧会では、震源近くの鳥取市西地域や被害の大きかった鳥取市中心市街地の様子を写した写真、実際に被災した人の記録などを展示し、当時の被害状況を紹介します。

また、避難した際の支援物資や防災グッズなども展示します。

忘れた頃にやって来る災害への備えについて、展覧会を通じて考える機会となればと思います。ぜひご覧ください。

(奥村寧子/鳥取市あおや郷土館学芸員)



(写真上)
現在の鳥取市鹿野町鹿野〔大工町〕
の被災した様子
(東京大学地震研究所所蔵(鳥取市
歴史博物館デジタル化))
(写真左)
県天然記念物「鹿野地震断層の痕跡」

2023. 9. 12 発行 博覧推進プロジェクト HP
(公財) 鳥取市文化財団 <https://www.tbz.or.jp/project/>
博学連携推進プロジェクト
鳥取市歴史博物館内
Tel. 0857-23-2140
E-mail info-hakugaku@tbz.or.jp



知らえぬ恋 ©まつしたゆうり

「まつしたゆうり万葉画展」

9/16(土)~12/3(日)

まつしたゆうりさんは絵本作家でありイラストレーターで、主に水彩絵の具をつかった、とてもやわらかくて色あざやかな絵を描いています。子供のころから昔話や詩に関心があり、動物や植物、古典作品をテーマにした作品を多く制作しています。万葉集について紹介している本はたくさんありますが、こんなのがあったらいいな、というまつしたさんの考えから始まって、『よみたい万葉集』という本ができました。この本には、万葉集の歌をこんなふうに表示するんだ!と、とてもおどろくようなイラストがたくさんあります。普通の画家が描くような絵ではなく、絵本作家ならではのやさしい表現にあふれています。このたびの展覧会では『よみたい万葉集』から



堅香子 ©まつしたゆうり

最新のイラストまで、約60点の作品をとおして万葉集の歌を紹介します。万葉集に関心のある人だけではなく、イラストや絵を描くのが好きな人も楽しめる内容です。万葉集だからと難しく考えず、気軽に楽しんでください。ご来場をお待ちしています。
(鎌澤圭伸/鳥取市因幡万葉歴史館学芸員)

今から100年ほど前の大正11年(1922)9月に鳥取城跡に久松遊園地(現・久松公園)が開設され、それから2年後の大正13年12月には鳥取公設運動場(現在鳥取県立博物館のあるところ)が開設され、鳥取城跡は大きく姿を変えていきました。(『昭和9年版鳥取市勢要覧』より)
江戸時代の鳥取城から明治期以降の鳥取城跡とその周辺の歴史について、絵図面や、在りし日の鳥取城を撮影した古写真など、関係資料で紹介します。ぜひ、ご来館ください。
(横山展宏/鳥取市歴史博物館学芸員)



ありし日の鳥取城

「鳥取城のあゆみ 城から公園へ」

9/30(土)~11/12(日)

やまびこ館